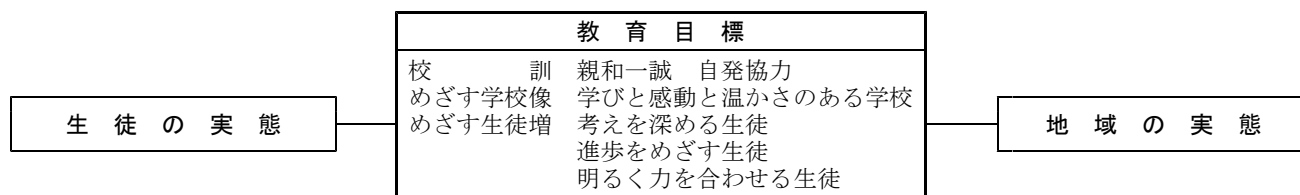


# 塩竈市立第二中学校 防災教育計画



**防災教育の目標**

○3. 11東日本大震災の教訓を生かし、自然災害（大地震や津波）の発生メカニズムや災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解し、今後の防災体制を考える。  
 ○災害から生命を守るのに必要な能力や資質の向上を図る。  
 ○人間としての在り方・生き方を考え、生命を尊重する心を育成するとともに、他者に対する思いやりや助け合いの心、ボランティア精神等を養う。

防災教育推進の視点		
防災体制の整備充実	新たな防災教育の推進	指導力・実践力の向上
○防災主任を校務分掌に位置付け、防災主任を中心とした防災教育の充実 ○教職員の役割の明確化と家庭や地域及び関係機関との連携を図る。 ○災害時の危機管理能力の向上と <b>避難所支援マニュアルの整備</b> ○日常の安全管理と避難経路の点検	○教育活動全体を通じた防災教育の推進 ○防災教育副読本の活用 ○長期的な心のケアの充実 ○効果的な防災訓練の実施	○教職員の防災リテラシーや応急処置能力の向上 ○心のケア等の校内研修会の充実 ○新たな防災教育の指導方法・指導内容の工夫

各学年の目標		
1年	2年	3年
○人間としてかけがえのない生命を与えられていることに喜びと感謝の気持ちを持ち、人間としてどう生きていくかを考える。 ○家族や社会の一員として、共に力を合わせて集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。 ○自然災害について知るとともに、地域の状況をとらえることによって、災害の備えについて考え、防災意識の向上を図る。	○非日常的な生活を強いられた仲間の心情や被災児童生徒の悲しみや苦しみの深さにふれることで、生命の重みや尊さについて考える。 ○ボランティア精神及び勤労の喜びを理解し、ボランティア等の活動に積極的にかかわろうとする態度を養う。 ○地域の災害特性に気付かせるとともに先人の被害への備えなどを調べ、地域における防災体制を考える。	○やさしさや思いやりの心をもちながら生きていくことの大切さを理解させるとともに、進んで公共の福祉のために尽くそうとする態度を養う。 ○地震や津波のメカニズムを理解し、安全で快適な町づくりをするために必要な環境整備について関心をもつ。 ○時における学校が果たす役割について理解し、学校と地域の人々とのつながりについて考える。
○災害時に周囲の状況を的確に判断し、安全に避難する能力を身に付ける。 ○災害時の応急処置について、その意義と処置法を身に付ける。		

教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
○科学的思考・判断力の育成 ○災害のメカニズム、地域特性、地域での支え合い、防災体制等の知識・理解 ○防災意識の高揚 ○ボランティア精神の育成 ○応急処置法の体得	○生命の尊重、差別意識の解消、異文化理解、共生等人権尊重の精神の育成 ○ボランティア精神及びやさしさや思いやりの心の育成 ○仲間づくり	○日常的な備え、災害時の安全確保、的確な判断や行動等実践的能力の育成 ○互いに協力し合い、自ら困難を克服する態度や実践的能力の育成 ○仲間づくり ○自主性やボランティア精神の育成	○ボランティア精神及び実践的態度の育成 ○地域の災害の歴史を学び今後の防災体制について考える態度の育成 ○防災意識の高揚（家族防災会議）・ボランティア精神の育成・個別懇談・地区別懇談

〈連携〉

家庭	地域社会
○防災意識の高揚（家族防災会議） ○ボランティア精神の育成 ○個別懇談・地区別懇談会	○ボランティア活動など様々な体験活動の機会や場の充実 ○防災リテラシーの育成 ○自主防災組織、防災コミュニティ会議の開催